

## 第 2 回学校運営協議会 議事録

日 時 令和 5 年 12 月 8 日 15:00 ～ 16:05

場 所 大阪府立清水谷高等学校 校長室

出席者

協議会委員	会 長 田中 保和 様	出席
	副会長 須藤 隆二 様	出席
	竹内 直樹 様	出席
	嘉田 恭永 様	欠席
	近藤 清子 様	出席
	野原 久実 様	出席
校長	日笠 賢	出席
事務局	林 拓磨	出席
	太居 豊	出席
	納江 良子	出席
	高田 雄	出席
	網 真明	出席

### 1. 会長挨拶

協議会委員 田中会長よりごあいさつ

### 2. 校長挨拶

学校長 日笠よりあいさつ

### 3. 学校の状況報告

令和 5 年度学校経営計画の進捗状況を報告した。

#### ① 確かな学力の定着と学びの深化

校内で授業見学週間を実施した。全教員が公開授業を設定し、同時に自教科 1 回・公開授業 1 回の見学をするように企画した。また、その内容をもとに振り返りミーティングを実施し、各教科において有効な教授法や評価について検討・共有を行った。

ICT を活用した授業も増加しており、とりわけ 1 人 1 台端末を使用・活用した授業頻度が向上した。これは校内研修や ICT 機器を用いた授業が得意な教員から横展開していった結果である。本校は今年度より LGH（リーディングギガハイスクール）に指定されており、全ホームルーム教室に電子黒板機能付きプロジェクターとプロジェクター対応黒板が設置されている。本事業においても LGH 内で報告を行っているが、本校は他校に比べて比較的 ICT 機器の使用頻度が高く、活用も進んでいる。

観点別評価に関しては、授業づくりチームという小委員会を作成し、授業づくりチーム

を中心に実施している。観点別評価に関しては本校のみならず他校も苦勞しているところである。

英語コミュニケーション力を向上させる取り組みとして、国際交流を積極的に行っている。コロナ禍を経て4年ぶりにオーストラリアの Living Waters Lutheran College との交流が復活し、今年度は8月に2、3年生27人がパースに語学研修に行きホームステイさせてもらい、12月は先方から12人が来てホームステイとして清水谷高校で受け入れている。また1月にはオーストラリアの少年合唱団の来校予定があり、受け入れる予定である。またマレーシアの国立大学からも3月に来校希望の打診があった。

#### ② 非認知能力を育成する教育機会の充実と希望の進路の表現

多様性を認め合い共生していくための意識として、人権 HR に様々な経歴の外部講師の方をお招きして講義をしていただいた。また、未成年を中心に広がっている闇バイトなどについて、弁護士であり本校の同窓会会長でもある須藤隆二様にも講演をしていただいた。今年度はさらに MBS の元アナウンサーにも講演をしていただく予定である。

自治会活動では、文化祭や壱月祭（校内合唱コンクール）において生徒の自治意識を高めるように活動を行っている。コロナ禍が過ぎ、ようやく従来の行事活動が実施できている。HR 合宿（修学旅行）もファームステイを取り入れて実施することができ、滞在先で感染者や事故を起こすことなく無事に帰阪することができた。

#### ③ キャリア教育の充実と希望の進路の表現

キャリア教育の一環として大学体験授業を実施している。それぞれの大学の先生をお招きして、大学の授業内容を本校の生徒に講義していただいた。生徒は興味のある講義や大学を選び授業を受けた。大学への意識が一層高まる行事である。

ベネッセ総合学力テストや模擬試験を増やし、進学のために自分の立ち位置がわかるように授業内（全生徒対象）で実施している。高校3年生においては校外で受ける練習として、外部模試にも参加している。模試が多くなる3年生では費用的負担を避けるため、校内で学校が実施する共通テスト模試も行っている。これは市販の共通テスト模擬試験パックをそれぞれが購入してもらい、学校で全員が同日に実施するという方法である。場所と模擬試験監督を学校が提供するため、パックのみの料金で実施できる。また、夏休みや春休みなどの長期休暇中には清水谷セミナーという校内での受験対策セミナーを実施している。

#### ④ 多様な主体との連携や協働の充実と府立学校の魅力づくり

探究活動では SDGs に基づいた問いを自ら設定し、その問いに対して仮説をたて、検証しその内容について発表を行うという手法をとっている。テーマである SDGs は 17 のゴールが示されており高校生でも理解しやすいテーマである一方で、2015年から提唱され一定の周知や成果が出ているため、小中高をはじめ多くの場所で目にするため探究のテーマとしてはやや出尽くした感がある。今後、テーマの変更が必要である。

今年度は情報発信による募集力の強化として、中学生対象オープンスクールの強化と新しい募集活動を実施した。中学生対象オープンスクールは6月・10月・12月にそれぞれ実施した。3回の実施で合計1172組2529名の申し込みがあり、前年度比113%であった。また、私立の受験校が決まり急ぎよ志望する公立高校を変更する中学生が1月に多く出てくることから、臨時で1月に第4回オープンスクールを実施する予定である。8月にはクラブ体験会も実施した。205名の申し込みがあり、高校の部活動を経験するいい機会になったと考える。

地域連携の新しい取り組みとして、幼稚園交流と小学生保護者対象学校見学会を実施した。文化祭に幼稚園児とその保護者を招待し高校生との交流を行う形式だったが、幼稚園の教員やその保護者のみならず、本校の教員からも高校生の新しい一面が見られたと好評であった。小学生保護者対象学校見学会は地元の公立高校の良さを知ってもらいたいという意図で企画した。本校の近隣小学校・中学校は比較的教育に対しての意識が高い保護者が多い地域ということがわかっており、私学への進学率が高い地域でもある。そのためまずは公立高校を見てもらいたいという思いから実施したが、本校のICT設備の充実具合に驚かれていた様子であった。

#### ⑤ 力と熱意を備えた教員の育成と学校組織づくりによる「働き方改革」の推進

教員対象の研修も多く実施した。ICTに関する研修や人権に関する研修、授業づくりに関する研修である。また働き方改革の一環として、PTA組織の改編を行った。組織規模としては縮小したが、時代に合わせたPTA組織であるために軽量化を図った形である。今後PTAが担っていた行事や企画は、保護者に広くボランティアを募ることで実施する予定である。他にも生徒手帳の廃止、大職員室の席替え、学年電話の設置を予定している。

#### 4. ご意見・ご質問

副会長 須藤 隆二 様

昨年度末に改築した食堂の2期工事を清友会にて2月に実施予定である。2期工事では空調工事を予定しており、食堂の新たな活用方法も検討していただきたい。

清水谷セミナーの募集状況はどうか。

⇒どの講座も人気で定数を超えるものもあるが、収容人数の大きい会議室で実施したり、最近はオンラインで実施したりして対応している。

会 長 田中 保和 様

模試についてはどんな様子か。

⇒1・2年は授業内にて悉皆で行っている。3年は希望者のみ実施している。

1人1台端末は全教職員が使っているのか。

⇒すべての先生が使用している。また、アンケート結果や授業見学から、本校は比較的ICT機器が得意な先生が多い。

生徒はついていけているのか。

⇒Chromebook の配付から 2 年経ち生徒もだいぶ慣れてきており、使用することが普通になってきている。

観点別評価はとても大変そうだが現場はどうか。

⇒徐々にではあるが教員も対応しているが、やはり負担は大きい。校内研修や外部ツールの導入などで対応していきたい。

竹内 直樹 様

中学校でも電子黒板を使っている授業がほとんどである。そのため高校でも積極的に活用しても、生徒は困惑しないと思われる。

野原 久実 様

来年度の募集定員が 1 クラス増えたようだが、なぜ清水谷が増えたのか。人気校であったり、倍率が高いことが影響しているのか。

⇒大阪府内で次年度に募集停止となる府立高校が数校あり、公立高校の定員全体を減らさないために、減る学級数に見合う定員数を募集力のあると判断された高校がカバーする形で 24 校が定員数を増やした。大阪府全体でカバーしている。

食堂にエアコンが入るのはとてもありがたい。

近藤 清子 様

毎年新しい取り組みをされていて素晴らしいと思う。

## 5. 第 3 回学校運営協議会

2024 年 2 月 16 日（金）15 時開催予定